

## 潤いの森 9月

### ヒガンバナ



ヒガンバナ科球根植物  
花期：9-10月

花が枯れると初めて葉が現れます。冬季も落葉せずに越冬し、翌春（3月～5月頃）に枯れるまでしきりに光合成をして養分を蓄えます。そのため、花と葉が巡り合わないことから「ハミズハナミズ」という別名もあります。

### ムラサキシキブ



シソ科落葉低木  
実の鑑賞期：9-11月

今年は少し開花初めが早かったからか、実になるのも早そうです。ムラサキシキブの幹は丈夫かつ、まっすぐなので、昔から杖や道具の柄などに使われてきたそうです。

### リンドウ



リンドウ科宿根草 花期：9-11月

リンドウは世界に400種以上分布するといわれており、日本では18種が確認されています。花は日が当たらないと咲かない特性があります。

### アシタバ

セリ科多年草 花期：5-9月



成長の早さを誇張し、朝に葉を摘んでも翌朝には同じ場所に葉が生じるという意味合いで「明日葉」と命名されました。

学名にあるAngelicaは「天使」の意味で、死者を蘇生させるという天使からきています。

## ヨモギ

キク科多年草 花期：9-10月



若葉にはキク科特有の香りがあり、広く食用されています。また、古くから中国、イヌイットや一部ヨーロッパではではヨモギの香りに邪気を払う効果があるとされ、その影響から雛祭りの草餅、端午の節句（菖蒲湯や軒に吊るす）に使われています。



## ヨモギが食草の虫

ヒメアカタテハ



ハスジカツオゾウムシ

## フイチゴ

バラ科ツル低木 花期：9-10月



果実は直径1センチほどの球形で、水分の多い小さな果実が多数集まった「集合果」と呼ばれるタイプのもので、果実が赤く熟すのは11月から翌春で味は甘酸っぱく、生食のほかジャムやジュースにして食用にすることができます。

## バラルリツツハムシ



5mmほどの小さい甲虫です。フイチゴの葉などを食します。